

はじめに

当協会は、視覚障害者の皆様の食生活改善に貢献するため、食に関する情報提供や食育に関する様々な活動を実施しています。

視覚障害者は日常の生活行動に制約があり、情報源も限られていることから、自身の食生活を改善するとともに視覚障害者に対する食育活動の活性化を図るためには、視覚障害者が参加できる事業を仕組み、実施することが重要となります。

昨年度の事業成果から、視覚障害者が食や農林漁業への理解を深めるためには、手で触れたり、耳で聞いて理解できる体験が非常に有効な手段であることが明らかとなりました。

そこで、当協会は、農林水産省補助事業「平成 27 年度消費者ニーズ対応型食育活動モデル事業」により、視覚障害者本人や介助者を対象に、農産物の生産・加工について体験する農業現場体験と併せて体験に関連した農産物を利用した料理教室や学習会を開催しました。これらの取組の実施状況をより多くの方々に共有してもらえよう音声版CDにまとめ、視覚障害者や関係団体に配布しました。

本冊子は、事業の成果を、視覚障害者関係団体以外にも広く普及し、視覚障害者への食育活動が活発になることを期待し、取りまとめたものです。

事業の推進に当たりまして、事業全般にわたりご指導いただいた事業推進会議委員や農林水産省の担当者の皆様、食育活動の実施にご協力いただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成 28 年 3 月

公益財団法人すこやか食生活協会理事長 中川 坦